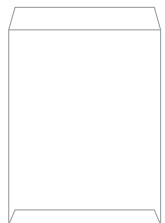


# 76期 活動報告書

ハグルマ封筒株式会社 CSR Report 2011



HAGURUMA ENVELOPE

## はじめに

### 代表あいさつ

東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

弊社は1918年創業以来、封筒を中心とする紙製品の製造販売を通じ、社会のニーズに応えながら情報産業の一翼を担って参りました。

封筒は人と人をつなぐ大切な通信手段として今ではあらゆる場面で使われ、ビジネス・生活においてなくてはならないものになりました。また近年では、単なる情報の通信手段としてだけでなく、製品の持つ素材感やデザインが人々のコミュニケーションをより豊かなものにしていきます。インターネットの普及したデジタル社会において、今後ますます必要とされる役割だと認識しております。

一方、封筒の原料である紙にはほとんど木材パルプが使用されているため、地球環境に必要とされる森林の保護と切り離すことができない産業でもあります。私たちは現状の地球環境を鑑み、どのようなものづくりで環境負荷を低減するか、そしてどのような活動を通して社会に貢献していくかを熟慮し取り組んでいくことが大切だと考えております。

このたび、私たちが取り組んでいる地球環境の保全ならびに地球市民として社会への貢献・取り組みを、日々支えていただいた皆様にご理解いただきたく「76期 活動報告書」を作成しました。

本報告書はハグルマ封筒の一年間の活動をまとめたものです。是非ご一読いただき、私たちの仕事へのご理解と、忌憚のないご意見を賜りましたら幸いです。



ハグルマ封筒株式会社

代表取締役社長

杉浦 正樹

### 編集方針

この「ハグルマ封筒株式会社 活動報告書」は、私たちが皆様から親しまれ、お客様とともに創造性を高める企業であり続けるために、企業理念や活動をお伝えすることを目的に作成しています。

対象期間 2010年10月～2011年9月

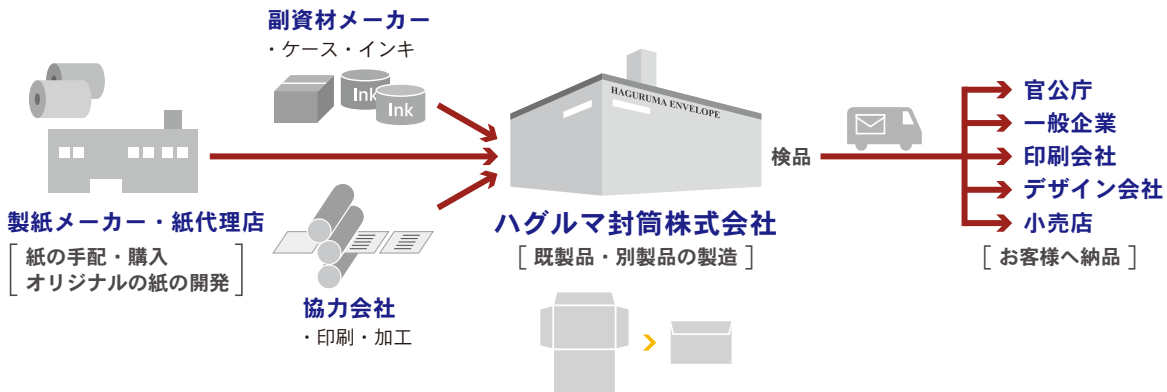
発行 2011年11月

この報告書は環境省より発行された『環境報告ガイドライン』を参考にしています。

# 事業活動

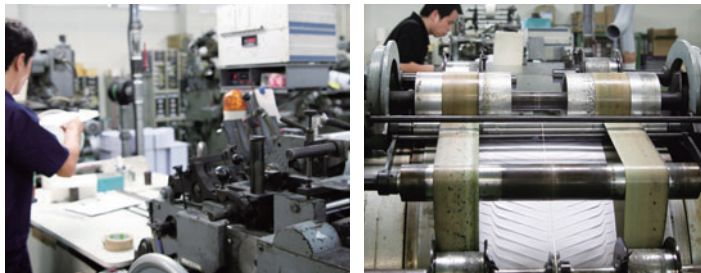
## 仕事の流れ

ハグルマ封筒では、2,000種類以上の封筒・カードの既製品、お客様のご要望に応じた別製品（オーダーメイド）の製造販売を行っています。



## 保有設備

断裁機	3台
抜き加工機	6台
輪転製袋機	8台
平判製袋機	6台
洋形製袋機	5台
セロ窓加工機・ 口糊加工機・印刷機など	30台



## 営業拠点

2010年7月に大阪に分散していた4つの拠点を集約して現在の大阪府堺市へ本社工場を移転しました。

大阪・東京・札幌の各営業拠点では外勤営業とは別にカスタマーセンターを設けており、お急ぎのお見積りやお問い合わせについても迅速に対応できる体制をとっています。全国への出張営業の他、インターネットでの通信販売も行っております。



# 経営理念



## 【会社の使命】

「私たちの商品で世の中のコミュニケーションをより豊かに」

## 【私たちが目指すもの】

- やりがいのある職場環境を整え全社員がプロフェッショナルを目指します
- 人と地球環境に優しく魅力的な商品を創出し世界の人々に愛される会社を目指します

## 【共有する価値観】

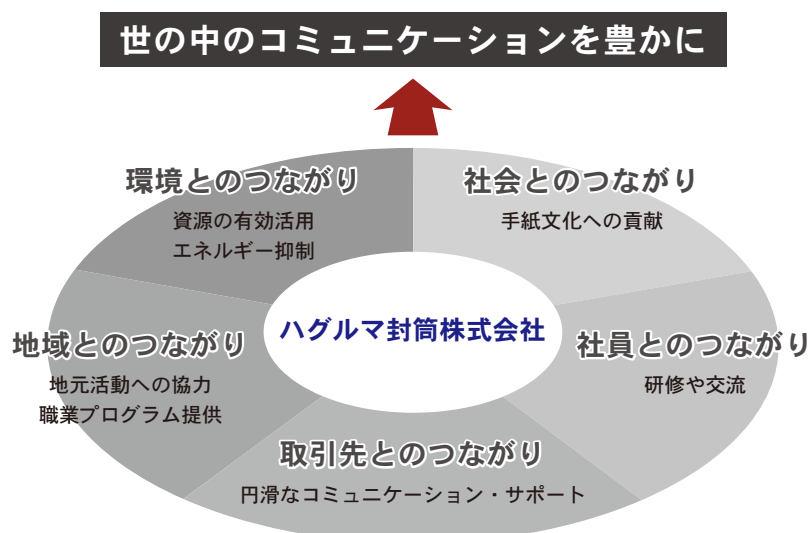
- 心地よいコミュニケーションができます
- 変革に挑戦しその原動力となります
- 仕事を楽しむ工夫をします
- 常に改善していきます
- 目標達成に対する熱意があります
- 謙虚と品格を持ち合わせます
- 驚きと感動を与えます
- センスを磨き感性を高めます



## CSRに対する考え

企業である以上利益の追求は当然ですが、それだけで事業が永続することはできません。事業の成功とともに社会に対しどのような貢献をしたかが問われています。私たちはCSR＝「企業の社会的責任」を次のように考えています。

まずはじめに大切なことは、事業活動におけるさまざまな業務や改革を法令遵守と透明性をもって行うこと、そして社会的な責任として、環境・社会・地域・取引先・社員、それぞれとの関係性をより良く改善し貢献していくことです。会社の方針はこれらの社会性を持続的に保つためにあると考えます。





## ✉ エコアクション21



2010年7月に新しい本社に移転し、大阪に分散していた4つの拠点を集約しました。今までとは環境が違うため、76期はエネルギー・資源・廃棄物などの削減を過去と対比することが難しく、環境活動以外にも業務効率を上げるため5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を社員全員が意識して行動しました。

また事業活動においては、再生紙・非木材紙の比率を高くし、森林保護にも努めました。インキは化学合成品ではない植物油インキを使用し、製版機においても廃液処理を必要としない環境にやさしいBLUE EARTHを導入しました。

## ✉ 品質・環境事務局

ISO品質向上の原点は5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）にあります。5Sへの取り組みの強化と弊社の共有する価値観を促進させ、それを融合させることにより、お客様に信頼される製品づくりを目指しています。事務局では、76期より各部署の若い世代の社員も参加しています。その結果、新鮮な意見も活発に飛び交い、これまでとは違う視点を取り入れた改善策へと繋がりました。

エコアクション21については、商品を製造する観点から、環境負荷を低減するためにCO<sub>2</sub>排出量及び廃棄物の削減、グリーン調達を行っています。また販売する観点からは、環境に配慮した再生紙・非木材紙を使用した製品開発・販売を積極的に行っています。ISOの取り組みでは、2011年8月にISO認証の更新審査が無事終了しました。また、工場では5S活動から派生した、グッドジョブプロジェクト（※）も2年目を迎えて、更に社員の意識も高くなっています。

これからも企業の責任として地球温暖化対策としてCO<sub>2</sub>排出量削減を最重要課題と認識し、環境マネジメントシステムを維持しつつ、定期的な見直しを行って参ります。

※グッドジョブプロジェクト：5S活動をベースとした評価基準に基づき5人の評価員が工場内を回り、定期的な上位チームを表彰する制度。



品質・環境管理責任者  
久山 正晃（くやま・まさあき）

## ✉ 新しい取り組み

### ・0円ペーパー

余り紙を再利用したメモサイズの紙を作っています。専用のケース入りでオンラインストアでは0円にて、お取引先様へはキャンペーンの一環として無償でお届けしています。

また、この0円ペーパーの取り組みは『NIKKEI DESIGN』2011年3月号にて「デザインで生まれ変わった世界のゴミ」として取り上げていただきました。

### ・リサイクルケース

封筒を入れるケースは、弊社で回収した余り紙を一部利用したりサイクル素材から出来ています。

### ・100%リサイクルペーパー封筒

封筒作製中に工場内で発生する紙片を一定基準で集め、古紙100%のリサイクルペーパーにするテストを行っております。現在、その紙を利用した製品化を目指しています。



# 労働安全方針

## 概要・社内事故報告・対策と取り組み

私たちは弊社で働く全ての社員が、安全と健康を通じて豊かな人生を享受できることが企業の社会的責任であるとともに、労働災害や事故が最も大きな環境破壊であることを認識し、労働安全衛生活動を推進しています。

### ・社内事故報告

76期の工場内での事故は以下の通りです。

- ・ハンドリフト操作ミスによる怪我
- ・降下してきたシャッターへの追突
- ・機械清掃中における怪我
- ・機械操作中における怪我

以上4件が労災保険の対象となりました。上記の事故による社員の怪我については完治しておりますが、77期は災害0を目標にします。

### ・対策と取り組み

弊社では火事や地震などの災害に備えた訓練を行っています。76期は2010年12月28日に避難訓練、2011年4月21日にドラム缶を倒し廃液が流出したという設定で、廃液流出防止手順書の通り実施訓練を行いました。

また、工場内にはオリジナルの安全第一ポスターを掲示しています。中央の大きな「1」のデザインの中には工場内で作業をする社員による「安全第一に関する考え」の言葉が小さく表示されており、その取り組み姿勢を表現しています。

その他、毎朝の朝礼ではその都度、危険を感じた作業の伝達、改善案を話し合います。定期的な作業マニュアルの変更や5Sを徹底することで、無駄な作業や過剰な在庫をなくし、安全で効率的な職場環境を築くことを目標としています。



## 苦情・クレーム

76期に発生した苦情・クレームについてご報告します。

### ・苦情

2011年2月廃液保管場所変更の際にドラム缶1個を倒し、廃液が工場内西側水路に流出し、水利組合より苦情がありました。緊急対応後、組合へ連絡し直ちに廃液を回収しました。

水路へは廃液を流出しないこと、定期的な緊急事態訓練を実施する旨を報告しました。4月21日には廃液流出防止の実施訓練を行いました。

### ・クレーム

75期全部署のクレーム件数の約38%が印刷に起因するものでした。内容を分析すると印刷クレームの約80%がお客様の求められる印刷色との差異によるものでした。特にカラー封筒に印刷をする場合に多く発生しており、お客様より指定された色見本通りのインキを作っても下地の紙の色に印刷色が左右されるため、ご満足いただけないと判断し対策を検討しました。

75期までは、熟練作業者が職人的な方法でインキを作っていましたが、2010年10月にインキディスペンサーを導入し、アナログ管理からデジタル管理に変更しました。

インキディスペンサーには過去の印刷色（インキ）の情報など、30,000件以上をデータベースとして蓄積し、リピート注文時に再現性の精度を上げることができるようになったため、76期のクレーム件数は75期に対して約24%の改善をすることができました。



# 環境方針実績・目標

## 環境に対する取り組み

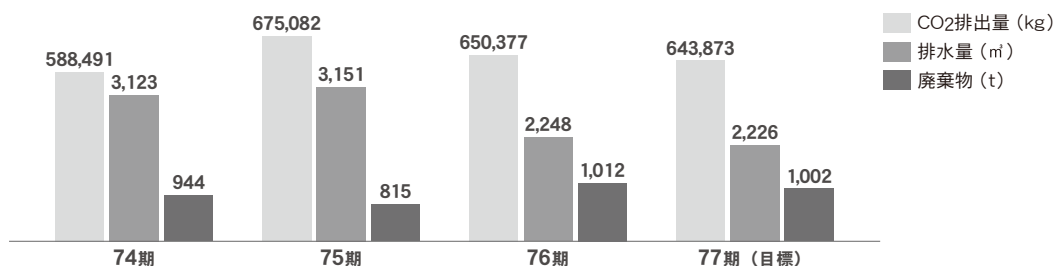
3年の推移と77期の目標

76期は本社移転後はじめて1年を通して稼働し、過去2年と比べると環境が違うため、76期を基準として77期の環境目標を前年対比-1%としました。

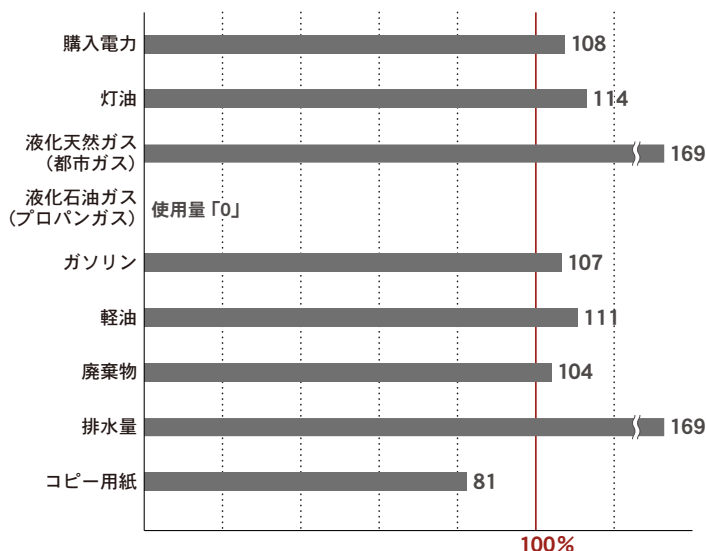
77期は、CO<sub>2</sub>排出量の削減に並ぶ重要なテーマとして資源の循環を掲げ「循環型ものづくり」を進めています。循環型ものづくりには「投入資源を最小化し、再生資源を最大化する」「生産活動から出る廃棄物の最終処分量をゼロにする」という2つの取り組みがあります。具体的には、商品を仕込む時に原紙が余って廃棄しないように仕込み率管理を行い、投入資源の最小化を実行しています。また、廃棄せざるを得ない原紙を封筒やケースの原材料として再利用したり、新たな商品として再生させるプロジェクトを行っています。

### 環境目標とその実績

	項目	単位	74期	75期	76期		77期
			実績	実績	目標	実績	目標
CO <sub>2</sub> の削減	購入電力	kwh	1,319,214	1,248,102	1,333,526	1,230,862	1,218,553
	灯油	ℓ	407	3,426	478	418	414
	液化天然ガス(都市ガス)	kg	1,149	50,973	78,458	46,388	45,924
	液化石油ガス(プロパンガス)	kg	31	28	0	0	0
	ガソリン	ℓ	12,527	12,694	13,020	12,112	11,991
	軽油	ℓ	2,739	2,791	2,999	2,692	2,665
	CO <sub>2</sub> 排出量	kg	588,491	675,082	591,311	650,377	643,873
	廃棄物	t	944	815	1,049	1,012	1,002
	排水量	m <sup>3</sup>	3,123	3,151	3,788	2,248	2,226
	コピー用紙	kg	5,995	5,879	5,606	6,943	6,874



## 76期環境目標に対する実績値 (%)



## 環境活動の取り組みについて76期の総括

2010年7月に新しい本社へ移転し、76期にはじめて1年間を通して稼働を終えることができました。本社機能を一カ所に集約したことにより、ほとんどの項目で環境目標値を達成することができました。特に冷暖房に使用するエネルギーをガスヒートポンプに切り替えたことで「購入電力」「灯油」の使用量を削減しました。今後の課題としては「液化天然ガス（都市ガス）」の使用量削減です。その対策として、効果的な冷暖房を行うためにスリットカーテンの設置や、クールビズ、ウォームビズの導入、通路などの消灯を行うことにより、エネルギーの削減を実施しています。

## ✉ 社外・社内への開示

弊社の環境・品質に関する取り組みをより理解していただくために、社外・社内では以下のような開示をしております。

### ・社外への開示

ホームページや会社案内では弊社が取り組んでいるISO9001、エコアクション21、植物油インキ使用など環境・品質に関連したものをロゴで表示しております。また、詳しい取り組みに関しては社長ブログ・広報ブログにて随時ご紹介しています。

お客様を招いての工場見学では、工場内の視察だけではなく弊社が環境や品質についてどのような取り組みや管理をしているかについて、担当者から説明の時間を設けています。

### ・社内への開示

社内のグループウェアによる日報では、品質・環境事務局よりどのような活動を行っているかについて随時情報を共有しています。また、日報上で他部署の社員同士が質疑応答することも可能で、迅速に対応できるようになっています。

# 地域社会とのつながり

## 職業体験の受け入れ

15年前より子供たちの職業体験を受け入れております。小学生は主に工場見学、中学生は教育プログラムの一環として職業体験を一日行います。このような体験は子供たちに働く現場の大切さや仕事に関する考え方を教える良い機会になると学校関係者の方々よりご評価をいただいております。

## 地域メディアへの貢献

堺市話題を取り上げるネットメディア『堺・上野芝時間』の取材に協力させていただきました。本社内でのインタビューで企画開発や手紙にまつわる話などを担当の企画スタッフがご紹介しました。

## 工場敷地内の緑化活動

堺市の条例に従い、本社工場内の18%の緑化を達成しました（堺市条例では15%以上の緑化を推奨）。敷地では季節ごとに、ウメ・サクラ・モモ・キンモクセイ・モクレンなど多くの植物を観賞することができます。社員の憩いの場としても好評です。



# お取引先とのつながり

## 営業ニュースレター

営業部の社員を中心に、お客様宛にニュースレター（年4回）を発送しています。A4サイズ両面のレターで表面は各社員それぞれがオリジナルのコラムを担当し発信しています。各営業担当のコラムはお客様より「話の続きが楽しみ」「担当営業に好感が持てる」などのご評価をいただき、お客様とのコミュニケーションツールとしての役割を担っています。ニュースレターは各担当者が必ず一筆添えてお送りしています。



## 工場見学

国内外のお客様の工場見학을定期的に受け入れています。また工場ではお客様との交流会や勉強会も行います。お客様へ工場内をご覧いただくことにより、弊社の製品に対するこだわりや工場内での品質に対する取り組みについて、よりご理解いただける機会になっています。



## 出張勉強会

封筒についての基本的な知識をご案内するために、営業部では各社員がお取引先での出張勉強会を実施しています。封筒の専門知識の他、封筒にまつわる歴史やマナー・まめ知識・トレンド情報など、封筒をさまざまな角度から紹介する機会をご提供しております。営業ご担当者だけでなく、企画やデザインご担当の方々からも高い評価をいただいております。



# 社員とのつながり

## 各種イベント

新しい本社に移ってから社員の家族を招くファミリーデーを開催しています。8月には屋上を開放して「PL花火大会」の観賞会を行いました。また、社員へは社外の各種研修会への参加を推奨しており、社員の担当スキルアップについても応援しています。

社内では研修会や勉強会を盛んに開催しており、担当部署のメンバーが意見交換の場として利用しています。

その他、他部署の交流を目的として、ハグルマ会という社員事務局を設けて、社員間の親睦会を定期的に行っています。



・女性が長く勤められるような福利厚生の実

大阪府の男女共同参画推進の取り組み「男女いきいき・元気宣言事業者制度」を推進しています。性別に関係なく、自分らしくいきいきと働けるような取り組みをしている企業として登録しています。



## 社員インタビュー



製造部 第2生産課 印刷工程  
リーダー  
梅川 充哉 (うめかわ・みちや)

ハグルマ封筒に入って13年印刷工程部門で働いています。主な業務は、さまざまな印刷機のオペレーションです。

日頃から心がけていることは、小ロットで簡単な印刷も、大量で複雑な印刷も手を抜くことなく

同じ品質で仕上げることです。特に簡単な印刷内容のご注文は、ちょっとした油断がミスへと繋がるので、徹底したオペレーション管理に努めています。

ハグルマ封筒は平均年齢が比較的若い会社ですが、新しいことにチャレンジする精神を持った人材への教育体制がしっかりしていると感じます。各部署の勉強会が充実しているだけでなく、やる気があれば年齢や性別は関係なくリーダーに抜擢されるなど、今の時代に合った体制になっていると感じます。このような会社の姿勢は私たち社員にとってもやる気につながります。

これからの目標は、担当以外の新しい機械をどんどん扱えるように、また、お客様にさらにご納得いただけるように、品質向上とスピードアップを追求して参ります。



製造部 DTP  
池ノ内昌子 (いけのうち・まさこ)

私は、主にお客様からいただいたデータに関する業務全般を担当しています。具体的には、印刷に適しているかのチェックや、印刷用への加工、リピート注文などのデータの修正や作成などを行います。

ハグルマ封筒の充実した研修制度にはとても魅力を感じています。社内勉強会の他、スキルアップのためのセミナーへも積極的に参加することができるので、そこで学んだ技術や知識を活かして、現在の業務を進めています。また、部署内や他部署でも感じるのですが、上司とのコミュニケーションがしっかり取れていて働きやすい環境だと感じます。

これからの目標は、点で見つめるのではなく全体に物事をつかんでいけるような仕事ができればと思っています。

まだまだ半人前ですが、目の前にあることにチャレンジし、さらに知識をつけてスキルアップを目指します。

# 文化的社会貢献

## ✉ 手紙文化を広げる活動報告

私たちのミッションと位置付けている「文化的社会貢献」の一環として、以下のようなイベントや組織へ協力をさせていただきました。

### ・お手紙ナイト

「手紙文化を通して社会貢献を」というテーマのもとに、2010年10月に国際NGO「Room to Read」日本事務局との共催で手紙のマナーを学ぶワークショップを開催し、参加費は全額（500冊分の本に相当）を寄付しました。

### ・チャリティーピンキーリング

国際協力NGOジョイセフ(財団法人 家族計画国際協力財団)での取り組み「チャリティーピンキーリング」を入れる封筒を作製・協賛しています。

### ・チャリティーレター

国内のデザイナーと協力して東北地方にまつわるデザインをテーマにしたレターセットを作製し、ウイングド・ウィールの2店舗にて2011年9月から販売を開始しました。売上の一部は日本赤十字社へ寄付しています。

### ・韓国人デザイナー20名の研修

2011年6月、ソウル市主催の若手デザイナー研修の一環としてウイングド・ウィールへの視察・研修に協力しました。主な研修内容はウイングド・ウィールブランドが出来た背景、手紙文化の啓蒙活動についてです。また、韓国人デザイナーへのアドバイスなどをさせていただきました。

### ・講演会・セミナー・ワークショップ

手紙文化をさらに広げるため、弊社社長・杉浦が講演会を行っています。また、スタッフによるセミナー・ワークショップも好評で、76期は合計50回以上開催しました（紙や印刷・デザイン業界の方々を集めての勉強会、NHK文化センターでの出張ワークショップなど）。

### ・手紙にまつわるイベント・フリーペーパー・映画配信会社などへの協賛

2011年9月に東京で開催された文通博覧会では会場用の封筒を提供しました。また、映画『ヤコブへの手紙』（2010年）では、専用封筒の提供の他、初日の来場者へ配布するレターセットを寄付しました。

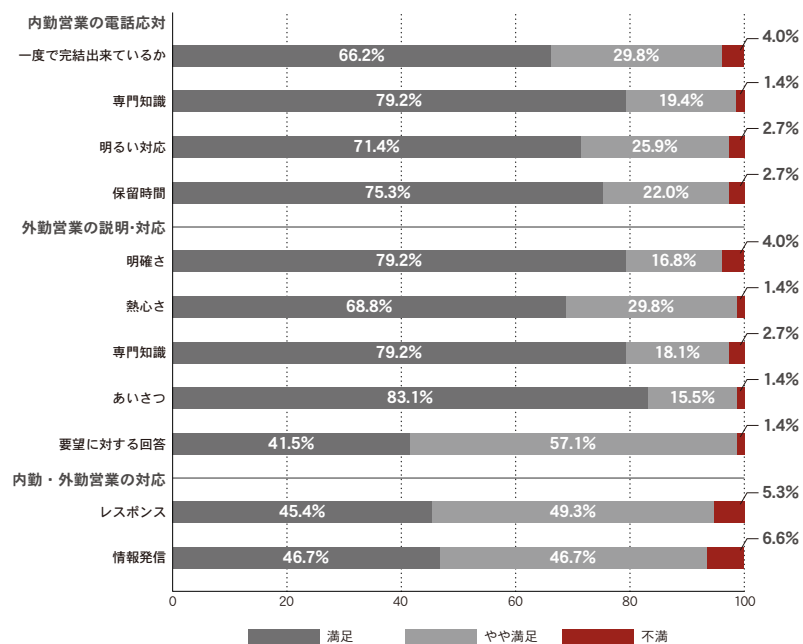
手紙にまつわるフリーペーパー『かしこ』では手紙コンクールと題した絵手紙の一般募集に対して、入賞者3名へ「ハグルマ封筒賞」として名入れのはがきを提供しています。



# 顧客満足度調査

## アンケート

定期的に、弊社のさまざまなお取引先へのアンケートを実施しております。2010年度は、200件のお願いのうち、122件のご回答をいただきました。結果は以下の通りです。



### ◆11問の質問に関する分析結果

全てにおいて概ね満足の範囲内という回答を得ていますが、以下のような問題点が挙げられました。

- ・内勤担当者の電話応対は少しでも不満を感じさせてはいけません。
- ・訪問目的がお客様にとって不明確であってはなりません。
- ・リクエストに対し、平凡な回答ではハグルマ封筒の価値を伝えられない。

この3点は営業力そのものであり、お客様との関係強化、他社との差別化に大きな影響を及ぼす要因でもあるので、早急な対策が必要となります。現在この改善に取り組むべく各課での勉強会にて、報告や検証を定期的に行っております。そして77期もこの改善を徹底して行っていく予定です。

## 編集後記

このたびは、弊社活動報告書をお読みいただき、誠にありがとうございます。

今回はじめて報告書を作成することになり、弊社の取り組みをぜひ多くの方々へお伝えしたいという気持ちで、ハグルマ封筒らしい活動報告書をテーマにまとめました。分かりやすい内容を心がけ、社員の声を伝えることで、皆様に弊社の取り組み姿勢を少しでも深く理解していただけるのではないかと考えました。

今回の活動報告書作成にあたり、弊社の企業理念や社会貢献などについて、改めて考える機会にもなりました。報告書としてはまだまだ不十分ではございますが、毎年少しずつ充実した内容を目指していきたいと思っております。

なお、お気付きの点やご意見・ご感想などございましたら是非お知らせくだされば幸いです。

今後ともハグルマ封筒は社員一同、地域社会に貢献し、持続可能な環境への配慮をしつつ、世の中のコミュニケーションを豊かにする製品づくりに邁進して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本報告書制作にあたりたくさんの方々のご協力をいただきました。

この場をお借りしてお礼を申し上げます。

ハグルマ封筒株式会社 企画広報部

お問い合わせ先

ハグルマ封筒株式会社 企画広報部

TEL 03-3255-2108 FAX 03-3255-2146 E-mail: [pr@haguruma.co.jp](mailto:pr@haguruma.co.jp)